

FM8TWA(100V用)改装手順

同様の手順で改装できる小便器洗浄システム AC100Vで動作する下記品番

TOTO TEA95・TEA96 / TOTO THE95・THE96

※電池タイプの小便器洗浄システム(TEA95D/TEA96D)には設置できません。
電池タイプの場合はFM8TWDシリーズをご確認ください。

改装前に以下の点を踏まえてください。

- ・故障部分はセンサーユニット(基板部分)もしくは電磁弁で、バルブ部分は問題ない。
- ・埋め込み部のバルブ本体、洗浄管、継手部分で漏水や破損は見られない。
- ・ACアダプタの分解・ケーブルの切断は絶対にしないでください。
- ・埋め込み部のバルブ本体の止水栓で止水、通水が問題なくできる。

注意

- ・電気工事は有資格者(電気工事士)が行ってください。
- ・取替作業前に必ず元電源のブレーカーを切ってください。
- ・同梱のACアダプタは絶対に分解・切断しないでください。
- ・壁内配管部の劣化、漏水等がないか事前に充分ご確認ください。
また、設置後も定期的な漏水チェックを推奨いたします。

1 改装前



2 止水栓を閉める



マイナスドライバーで止水栓(開閉ネジ)を閉める。閉まらない場合は元栓を閉めてください。

3 端子を取り外す



元電源ブレーカーを切り、光電センサーに接続されている端子を外す。

4 ソケット端子台に接続



取り外した端子を同梱の埋め込みコンセントに接続する。(詳細は下記)

5 フタを外す



フタの溝に開閉工具を差し込み、スパナ等の工具で回す。



フタを取り外す。

別売のフタ開閉工具(ミナミサワ品番:TWKK)の使用をお勧めします。



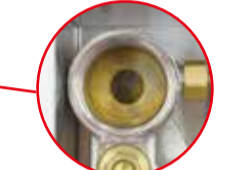
ミナミサワ品番 TWKK

※マイナスドライバーで開けようとすると溝がなめてしまいます。フタが固い場合は、事前に潤滑油を吹き付けてください。

6 ピストンバルブの取り外し



ピストンバルブとシリンダ内部に残った部品を全て取り外す。



中に何も入っていないことを確認してください。

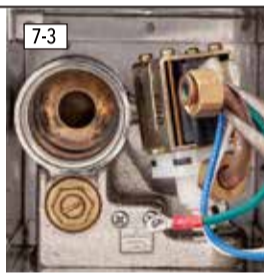
7 電磁弁の取り外し



ナットを取り外す。



電磁弁を固定していた取付ネジを外す。またアース線固定ネジを外す。



電磁弁を取り外す。



電磁弁撤去後の状態。

8 重要 電磁弁撤去後の封水処理



封水パーツ(写真)を穴に差し込み、ネジを締めて固定する。



封水パーツ

- ①奥までしっかり差し込む。
- ②しっかりねじ込む。

9 固定金具の取り付け

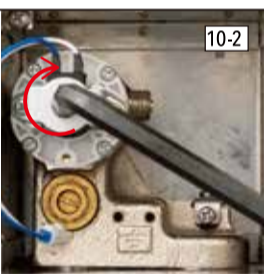


電磁弁に固定金具を取り付ける。

10 電磁弁の取り付け



シリンダーに電磁弁を差し込む。



8ミリの六角レンチを固定金具に差し込み、時計回りで奥までしっかりとねじ込む。

11 止水栓を開ける



止水栓を開け、漏水がない事を確認する。

12 ACアダプタの接続



ACアダプタをソケットに差し込む。※必ず同梱のACアダプタを使用してください。

13 ケーブルの接続



電磁弁ケーブルと電源線をセンサーユニットに接続する。

14 完成



枠にセンサーを取り付ける。

埋込コンセントへの電線接続



①電線の先端の被覆を約10mmカットする。



②写真に示す端子台の穴に銅線をまっすぐ入れ込み、銅線が見えなくなるまで押し込む。



※電線がより線の場合は市販の棒型圧着端子をご利用ください。(例:パナソニック製 WV2500)

【電線の外し方】

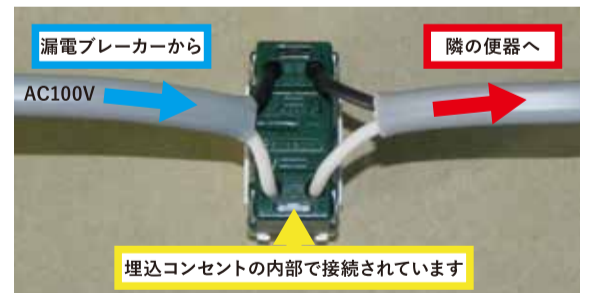
埋込コンセント裏側の「はずし穴」にマイナスドライバーを押し込み電線のロックを解除する。この状態で電線を引き抜きます。



はずし穴
この隙間にマイナスドライバーの先端を差し込む

【送り配線の接続例】

AC100Vが隣の便器へ送り配線の場合、写真のように配線してください。



埋込コンセントの内部で接続されています

現場が機能復旧ユニットの場合の注意事項

右図のような外観の機能復旧ユニット(THE95/96)が使用された現場の場合、既設の枠を一旦取り外し、磁石が左右になるように枠を付け直してください。

枠を付け直さないと、センサーが取付できません。

機能復旧ユニットの特長

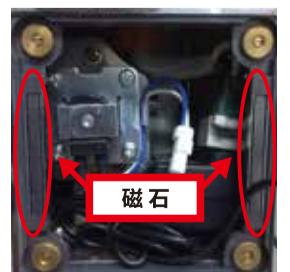
- ・センサー窓が細い長方形
- ・枠の磁石が上下にある。



取付ナットを外す。(4カ所)



枠を取り外し、磁石が左右になるように90度回す。



磁石が左右になるように枠を付け直し、取付ナットで固定する。